

---

# 2016年度決算説明会

2017年5月11日  
Hitz日立造船株式会社  
取締役会長兼社長 谷所 敬

## 目次

---

1. 2016年度連結決算概要
2. 2017年度業績見通し
3. セグメント別詳細

---

## 1. 2016年度連結決算概要

- **事業規模が4,000億円レベルになったこと**
- **全セグメントが黒字になったこと**

# 2016年度決算 実績サマリー

(億円)

	2015年度 (実績)	2016年度 (見通し)	2016年度 (実績)	比較	
	(益率)	(益率)	(益率)	対前年度	対見通し
受注高	4,354	4,500	3,989	▲365	▲511
売上高	3,870	4,000	3,993	123	▲7
営業利益	(3.9%) 151	(4.0%) 160	(3.7%) 149	(▲0.2%) ▲2	(▲0.3%) ▲11
経常利益	(3.2%) 122	(3.0%) 120	(2.8%) 112	(▲0.4%) ▲10	(▲0.2%) ▲8
親会社株主に帰属 する当期純利益	(1.5%) 58	(1.5%) 60	(1.5%) 58	(0.0%) 0	(0.0%) ▲2

(億円)

	2015年度 (実績)	2016年度 (見通し)	2016年度 (実績)	比較	
		2016年 11月公表		対前年度	対見通し
環境・ プラント	2,837	3,000	2,406	▲431	▲594
機械	1,072	1,050	1,069	▲3	19
インフラ	345	300	332	▲13	32
その他	100	150	182	82	32
計	4,354	4,500	3,989	▲365	▲511

(億円)

	2015年度 (実績)	2016年度 (見通し)	2016年度 (実績)	比較	
				対前年度	対見通し
環境・ プラント	2,416	2,550	2,546	130	▲4
機械	1,045	1,050	1,037	▲8	▲13
インフラ	308	300	292	▲16	▲8
その他	101	100	118	17	18
計	3,870	4,000	3,993	123	▲7

# 2016年度決算 営業利益

(億円)

	2015年度 (実績)	2016年度 (見通し)	2016年度 (実績)	比較	
				対前年度	対見通し
環境・プラント	148	140	113	▲35	▲27
機械	▲8	10	22	30	12
インフラ	4	7	10	6	3
その他	7	3	4	▲3	1
計	151	160	149	▲2	▲11



		(億円)
<b>2015年度 営業利益</b>		<b>151</b>
<b>増減内訳</b>	・売上高増 (+123億円)	20
	・一般管理費の増加	▲9
	・環境・プラント部門の高採算案件の減少	▲23
	・その他 (機械部門の構造改革等)	10
<b>2016年度 営業利益</b>		<b>149</b>

## 2016年度決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2015年度	2016年度	比較
金利負担額	▲6	▲5	1
持分法による投資損益	▲13	7	20
その他営業外損益	▲10	▲39	▲29
<b>営業外損益 計</b>	<b>▲29</b>	<b>▲37</b>	<b>▲8</b>

		2015年度	2016年度	比較
特別利益	固定資産売却益	—	14	14
	海外事業関連損失	—	▲30	▲30
特別損失	減損損失	▲18	—	18
	債務保証損失引当金繰入額	▲14	—	14
<b>特別損益 計</b>		<b>▲32</b>	<b>▲16</b>	<b>16</b>

# 2016年度決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

		2015年度	2016年度	比較
キャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュフロー	81	173	92
	投資活動によるキャッシュフロー	▲37	▲70	▲33
	財務活動によるキャッシュフロー	▲159	▲84	75
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲113	(注1) 12	125
	現金・現金同等物の期首残高	607	496	▲111
	現金・現金同等物の期末残高	(注2) 496	508	12

		2015年度	2016年度	比較
有利子負債	借入金	(注3) 951	(注3) 992	41
	社債	100	100	0
	合計	1,051	1,092	41

(注1)為替換算差額含む (2015年度: +2, 2016年度: ▲7)

(注2)新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高(2015年度: +2)を含む

(注3)リース債務を含む

---

## 2. 2017年度業績見通し

(億円)

	2016年度 (実績)		2017年度 (見通し)		比較	
	(益率)		(益率)			
受注高		3,989		4,000		11
売上高		3,993		3,600		▲393
営業利益	(3.7%)	149	(3.5%)	125	(▲0.2%)	▲24
経常利益	(2.8%)	112	(2.8%)	100	(0.0%)	▲12
親会社株主に帰属する当期 純利益	(1.5%)	58	(1.8%)	65	(0.3%)	7

(億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (見通し)	比較
環境・プラント	2,406	2,550	144
機械	1,069	1,000	▲69
インフラ	332	350	18
その他	182	100	▲82
計	3,989	4,000	11

(億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (見通し)	比較
環境・プラント	2,546	2,150	▲396
機械	1,037	1,000	▲37
インフラ	292	300	8
その他	118	150	32
計	3,993	3,600	▲393

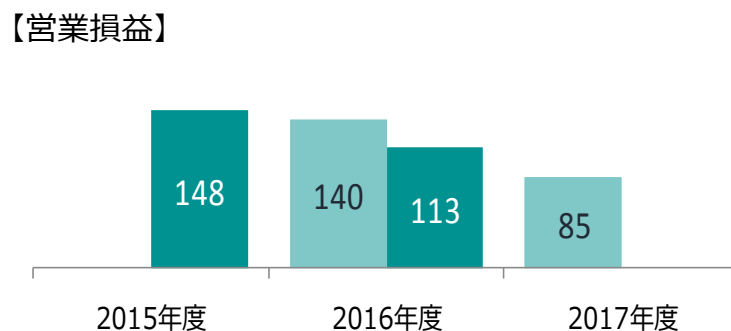
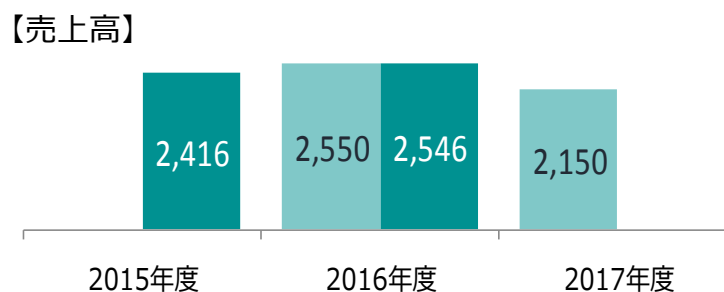
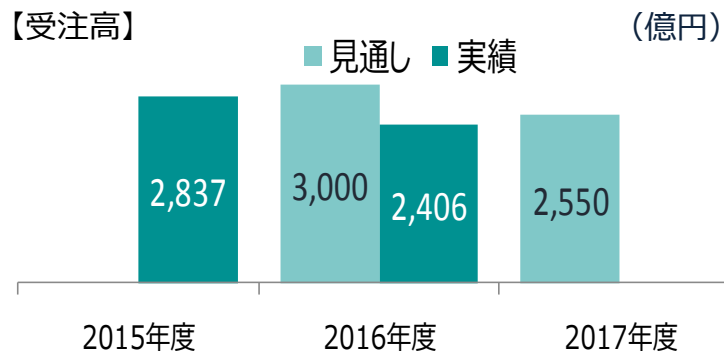
(億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (見通し)	比較
環境・プラント	113	85	▲28
機械	22	25	3
インフラ	10	10	0
その他	4	5	1
計	149	125	▲24



---

## 3. セグメント別詳細



## 受注高

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

2,406億円 (▲431億円)

・2015年度:カタル向け大型海水淡水化プラント建設工事

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

2,550億円 (+144億円)

・国内EPC案件の増加  
・海外水事業の新規連結

## 売上高

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

2,546億円 (+130億円)

・カタル向け大型海水淡水化プラント建設工事の売上増加

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

2,150億円 (▲396億円)

・カタル向け大型海水淡水化プラント建設工事の減少  
・基幹改良工事の減少

## 営業損益

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

113億円 (▲35億円)

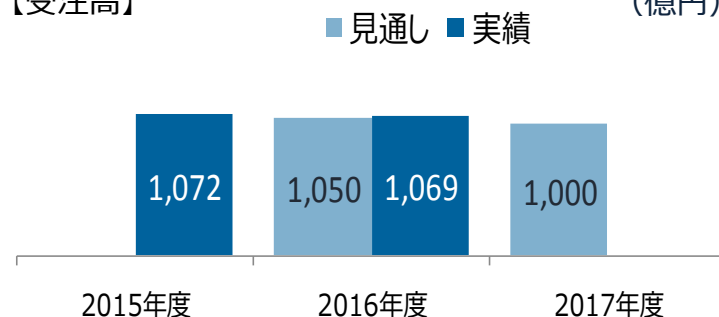
・高採算工事の減少

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

85億円 (▲28億円)

・基幹改良工事などの減少

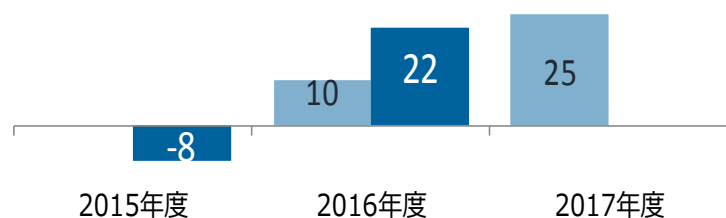
【受注高】 (億円)



【売上高】



【営業損益】



## 受注高

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

1,069億円 (▲3億円)

- ・船用原動機の減少 (選別受注)
- ・精密機械で大口案件を受注

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

1,000億円 (▲69億円)

- ・船用原動機の減少 (選別受注)

## 売上高

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

1,037億円 (▲8億円)

- ・精密機械の受注時期ずれによる減少

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

1,000億円 (▲37億円)

- ・船用原動機の減少

## 営業損益

### ■ 2016年度実績 (2015年度比)

22億円 (+30億円)

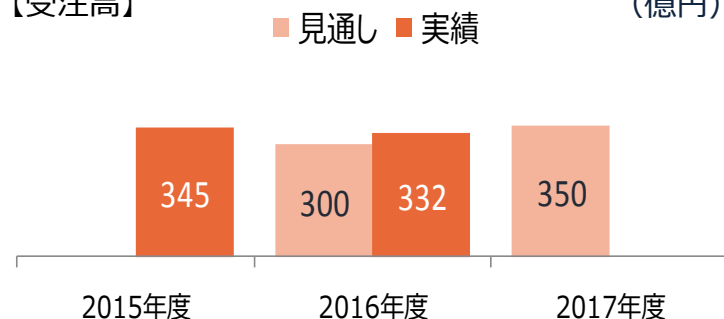
- ・船用原動機の構造改革進捗
- ・精密機械の新製品トラブル解消

### ■ 2017年度年間見通し (2016年度比)

25億円 (+3億円)

- ・船用原動機の構造改革進捗

【受注高】 (億円)



【売上高】



【営業損益】



## 受注高

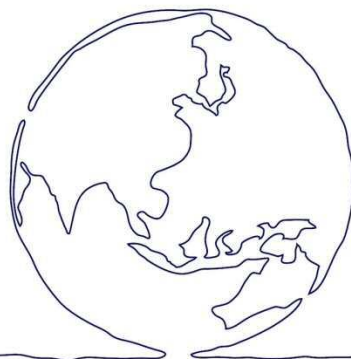
- **2016年度実績 (2015年度比)**  
332億円 (▲13億円)  
 ・2015年度は海洋の大口案件の受注により増加
- **2017年度年間見通し (2016年度比)**  
350億円 (+18億円)  
 ・橋梁・煙突、海洋での増加を見込む

## 売上高

- **2016年度実績 (2015年度比)**  
292億円 (▲16億円)  
 ・2015年度はシールド掘進機の工事の売上が多い
- **2017年度年間見通し (2016年度比)**  
300億円 (+8億円)  
 ・水門等の大口工事が順調に進捗する見込み

## 営業損益

- **2016年度実績 (2015年度比)**  
10億円 (+6億円)  
 ・海洋の大口工事が順調に進捗  
 ・個別工事の採算改善
- **2017年度年間見通し (2016年度比)**  
10億円 (±0億円)



# 地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

**Hitz**

Hitachi Zosen

日立造船株式会社

<http://www.hitachizosen.co.jp/>